

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

気管支拡張症および肺非結核性抗酸菌症に対する呼吸器リハビリテーションの効果についての探索的調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2016年1月1日から2026年3月31日までの間に昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院でリハビリを受けた気管支拡張症または肺非結核性抗酸菌症の患者さん。

2. 研究目的・方法

肺非結核性抗酸菌症は非結核性抗酸菌という菌が肺に感染する病気で、気管支が破壊される気管支拡張症という病気を持っている方に起こることが知られています。これらはいずれも治療の難しい慢性的な肺の病気で、進行とともに咳、痰、息切れなどの症状が強くなり、生活の質を損ねます。そういった症状を軽くするためには薬による治療だけでは不十分なことが分かっており、「非薬物的治療」といって栄養療法やリハビリテーションなどの治療法が注目されています。リハビリテーションはCOPD（慢性閉塞性肺疾患）や間質性肺炎といった肺の病気に対して効果があることが証明されていますが、気管支拡張症や肺非結核性抗酸菌症に対してどのくらいの効果があるのかをはっきりと示した報告は非常に限られています。

そのため私たちは気管支拡張症または肺非結核性抗酸菌症のある患者さんで、リハビリテーションを受けた方のカルテにある情報を集めて解析することによって、リハビリテーションにどのような効果があるのかを調査することにしました。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028年 4月 30日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、既往歴、合併症、身長、体重、喀痰培養検査、血液検査、呼吸機能検査、画像検査、6分間歩行試験、身体組成、処方歴、リハビリ介入内容、通院歴、入院歴

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者	研究機関名	氏名
	昭和医科大学藤が丘病院	林 誠

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院

氏名：林 誠

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1 - 3 0

電話番号：045-971-6222